

オプトラン (6235) 20/12 期減額修正メモ コロナ、米中摩擦で減額修正も押し目買い

20/12 期コロナ、米中摩擦激化で減額修正も 21/12 期は 5G 向けや新製品寄与で収益上伸へ

株価 2189 円 (9/25) 時価総額 971 億円 (9/25) 発行済株 44358 千株 (9/25)

PER (20/12 会予 : 13.1X) PBR (2.7X) 配当 (20/12 会予) 50 円 配当利回り : 2.3%

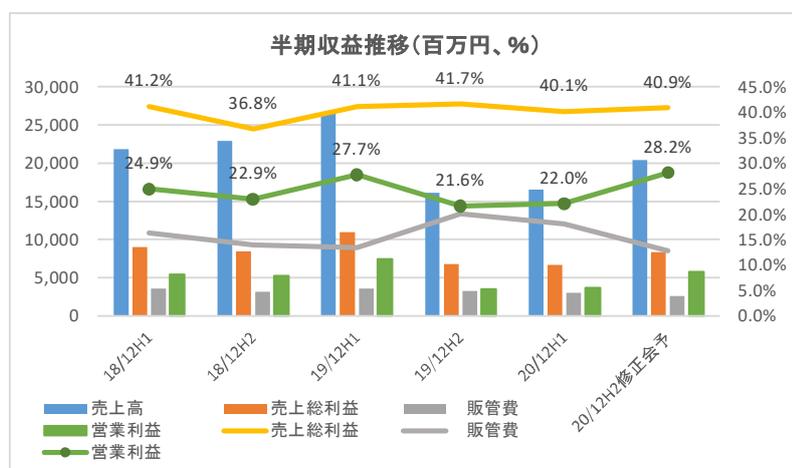
要約

- ・ 20/12 期はコロナ、米中摩擦激化から 13.5%減収 13.6%営業減に減額修正発表
- ・ 21/12 期は 5G スマホに加え新製品群の収益寄与本格化で収益上伸期待
- ・ 株価は減額修正も下値は限定的とみて押し目買い、中期的には機械平均 PER 水準 3770 円

20/12 期はコロナ、米中摩擦激化から 13.5%減収 13.6%営業減に減額修正発表

9/25 に 20/12 決算の減額修正開示がなされた。20/12 期は、売上高 370 億円 (92 億円減額、13.5%減)、営業利益 94 億円 (26 億円減額、13.6%減)、経常利益 97 億円 (23 億円減額、12.1%減)、税引利益 71 億円 (21 億円減額、22.0%減) とした。

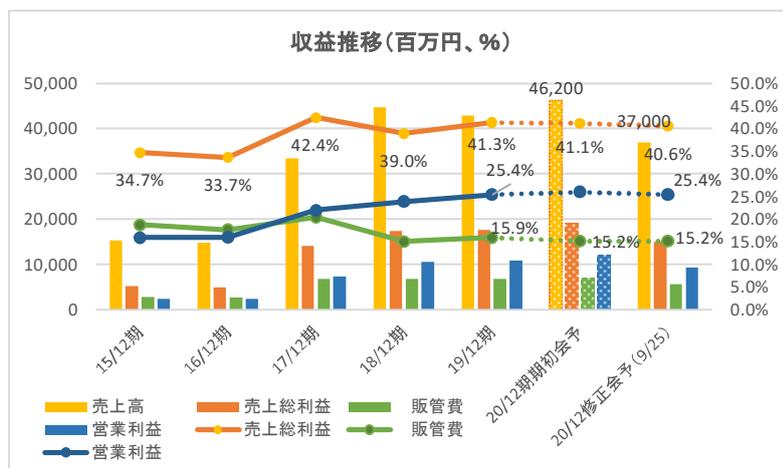
上期の説明会でコロナウイルス、米中摩擦影響が不透明で、Q2 以降正常化前提に期初計画を見直さないとしていた。実際は米国の 9/15 の対中経済制裁で、中国スマホメーカーの生産に影響が顕在化 (同社の中国向けスマホの需要の 1/3 は間接的



にファーウェイ向けとの認識)、アップルの新モデル投入遅れ影響もあり、装置発注の期ずれが出た模様。加えて監視カメラなども世界最大手のハイクビジョン、2位のダーファテクノロジーもファーウェイ同様の規制を受けたこと、1 眼レフカメラ向けなども旅行需要減退やスマホのカメラ代替加速などで、スマホ以外での受注にも影響が広がったとみられる。

セグメント別では ALD 装置や 5G 向け新型光通信装置等の新製品群が前期の売上高 5% レベルから上期 15% に拡大、受注ベースでは 41% まで拡大しているが、本格的な収益貢献は 21/12 期になるため、カメラレンズ向け、LED 向けの不振を補えていない。なお下期にアップルの 2021 年モデル以降をにらんだ大型受注の成約を見込んでいたが、これも期ずれの可能性があると判断される。

利益面では下期に採算の高いスパッタ装置のウエイトが高まる見通しであり、売上高が下方修正となっても大きな原価率悪化にはならないとの説明があり、販管費比率についても、研究開発投資は必要な規模を確保し、その他を抑制して横ばいを確保できるとしている。



全体を通じ、もともと減額修正されると想定していたが、米中規制のさらなる規制強化分で想定以上の減額となっているものの、この修正数字の達成は可能と判断する。

21/12 期は 5G スマホに加え新製品群の収益寄与本格化で収益上伸期待

21/12 期は 5G 端末の本格普及でスマホ向けは高機能化が着実に拡大、特にアップル向けではミリ波対応、複眼化、UWB (超広帯域)、LiDAR スキャナ (AR 対応) などが標準装備される見通しなどがあり、中国スマホも同様に筐体のガラス化などでコーティングニーズが高まるなど、スパッタ、蒸着装置いずれも需要が高まろう。また車載、監視カメラ需要なども 3次元 LiDAR などの高機能化、高精度化でコーティングニーズが急拡大しよう。加えて今期は低迷している LED 向けでは、次世代ディスプレイ技術として注目されるマイクロ LED、ミニ LED などで再度需要が高まろう。実際に 2021 年に米 Vuzix 社がマイクロ LED を使った AR グラスを発売すると発表、2022 年にはアップルもアップルグラスを投入する話も出ており、同社のミニ LED 用蒸着装置は開発用から量産向けにも受注が拡大しよう。また光学成膜に ALD 原子レベル積層技術を取り入れた世界初の ALD 装置は 2020 年 8 月に受注獲得がアナウンスされたが、レンズ曲面や 3D 構造物などの複雑な表面に均一、超薄膜、低温成膜が可能な装置で、昨今のスマホの高倍率光学ズーム撮影に必要な不可欠な超広角レンズに代表される曲面の厳しいレンズ表面の成膜には欠かせない。今後、ミニ LED やマイクロ LED 向け保護膜などでも利用拡大が見込まれ、本格受注拡大が見込める。その他、半導体ウエハにレンズを直接成膜する半導体融合装置、光通信用 DWDM 真空成膜装置など、21/12 期は新製品群の刈り取り期に入り、収益上伸が期待される。

株価は減額修正も下値は限定的とみて押し目買い、中期的には機械平均 PER 水準 3770 円

株価はコロナウイルス影響に加え、米中摩擦激化により主力ユーザーのスマホ開発の混乱などで全体として不確実性が高まっていたことから、株価は下方トレンドで推移してきた。今回、下方修正され、修正予想 EPS166 円に対し、PER13.1 倍は割高とは言えず、減

額修正での下値は限定的と判断する。当面、米中摩擦で株価の上昇も限定的とみられるが、懸案のアップル向け大型受注獲得の確認が出来れば、機械平均 PER22.7 倍にあたる 3770 円をターゲットに再度、株価の継続的な上昇トレンドが期待される。

オプトラン(6235)										(百万円、円)	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当	
17/12期	33,385	124.0%	7,327	207.9%	7,095	249.5%	4,815	228.3%	134.56	40.00	
18/12期	44,763	34.1%	10,690	45.9%	10,992	54.9%	7,745	60.9%	187.64	55.00	
19/12Q1	13,975	30.5%	4,126	26.4%	4,110	20.0%	3,605	51.4%	86.62	0.00	
19/12Q2	12,702	14.4%	3,270	51.2%	3,152	37.5%	2,389	50.2%	56.90	0.00	
19/12Q3	7,074	-56.4%	1,406	-71.8%	1,886	-45.0%	1,475	-62.9%	35.13	0.00	
19/12Q4会予	12,250	82.2%	2,499	812.0%	2,152	16.7%	931	-76.6%	24.25	60.00	
19/12Q4	9,071	34.9%	2,077	658.0%	1,883	2.1%	1,632	黒転	38.04	60.00	
19/12H1	26,677	22.3%	7,396	36.3%	7,262	27.0%	5,994	50.9%	143.52	0.00	
19/12H2	16,145	-29.7%	3,483	-33.8%	3,769	-28.5%	3,107	-17.7%	73.17	60.00	
19/12期初会予	46,000	2.8%	11,300	5.7%	11,300	2.8%	8,400	8.4%	202.49	60.00	
19/12期	42,822	-4.3%	10,879	1.8%	11,031	0.3%	9,101	17.5%	216.69	60.00	
20/12Q1	6,837	-51.1%	1,615	-60.9%	1,816	-55.8%	1,445	-59.9%	33.99	0.00	
20/12Q2	9,753	-23.2%	2,037	-37.7%	2,136	-32.2%	1,439	-39.8%	33.7	0.00	
20/12H1	16,590	-37.8%	3,652	-50.6%	3,952	-45.6%	2,884	-51.9%	67.69	0.00	
20/12H2会予(8/6)	29,610	83.4%	8,348	139.7%	8,048	113.5%	6,316	103.3%	149.25	60.00	
20/12H2修正会予(9/25)	20,410	26.4%	5,748	65.0%	5,748	52.5%	4,218	35.7%	98.95	50.00	
20/12期初会予	46,200	7.9%	12,000	10.3%	12,000	8.8%	9,200	1.1%	216.94	60.00	
20/12期修正会予(9/25)	37,000	-13.6%	9,400	-13.6%	9,700	-12.1%	7,100	-22.0%	166.64	50.00	
20/12H2前回DO予	26,910	66.7%	6,648	90.9%	6,348	68.4%	5,016	61.4%	118.60	60.00	
20/12期前回DO予	43,500	1.6%	10,300	-5.3%	10,300	-6.6%	7,900	-13.2%	186.29	60.00	
20/12期DO予	37,000	-13.6%	9,400	-13.6%	9,700	-12.1%	7,100	-22.0%	166.64	50.00	
21/12期前回DO予	50,000	14.9%	13,500	31.1%	13,500	31.1%	10,000	26.6%	238.09	75.00	
21/12DO予	47,500	28.4%	12,300	30.9%	12,300	28.8%	9,400	32.4%	220.62	60.00	

年度	18/12期	19/12期	20/12期 期初会予	20/12修 正会予 (9/25)	20/12期 前回DO予	20/12期 DO予	21/12期 前回DO予	21/12期 DO予
売上高	44,763	42,822	46,200	37,000	43,500	37,000	50,000	47,500
売上原価	27,327	25,125	27,200	21,990	26,300	21,990	29,100	28,000
売上総利益	17,436	17,697	19,000	15,010	17,200	15,010	20,900	19,500
販管費	6,746	6,818	7,000	5,610	6,900	5,610	7,400	7,200
営業利益	10,690	10,879	12,000	9,400	10,300	9,400	13,500	12,300
経常利益	10,993	11,031	12,000	9,700	10,300	9,700	13,500	12,300
親株主帰属純利益	7,746	9,102	9,200	7,100	7,900	7,100	10,000	9,400
セグメント売上情報年度	18/12期	19/12期	20/12期 期初会予	20/12修 正会予 (9/25)	20/12期 前回DO予	20/12期 DO予	21/12期 前回DO予	21/12期 DO予
スマホ	21,218	25,222	26,500		24,200	22,200	27,000	26,000
カメラレンズ	7,923	5,096	6,000		5,600	2,000	6,400	5,000
IoT	10,072	7,194	8,000		8,000	7,800	10,000	9,500
LED	2,641	2,055	2,200		2,200	2,000	2,600	3,000
その他	2,954	3,254	3,500		3,500	3,000	4,000	4,000
合計	44,763	42,822	46,200	37,000	43,500	37,000	50,000	47,500
セグメント受注	18/12期	19/12期	20/12期 期初会予	20/12修 正会予 (9/25)	20/12期 前回DO予	20/12期 DO予	21/12期 前回DO予	21/12期 DO予
受注合計	39,821	36,062	46,200		44,000	40,000	50,000	48,500
セグメント受注残	18/12期	19/12期	20/12期 期初会予	20/12修 正会予 (9/25)	20/12期 前回DO予	20/12期 DO予	21/12期 前回DO予	21/12期 DO予
受注残合計	39,228	32,468	32,468		32,968	35,468	32,968	36,468
年度	18/12期	19/12期	20/12期 期初会予	20/12修 正会予 (9/25)	20/12期 前回DO予	20/12期 DO予	21/12期 前回DO予	21/12期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	61.0%	58.7%	58.9%	59.4%	60.5%	59.4%	58.2%	58.9%
売上総利益	39.0%	41.3%	41.1%	40.6%	39.5%	40.6%	41.8%	41.1%
販管費	15.1%	15.9%	15.2%	15.2%	15.9%	15.2%	14.8%	15.2%
営業利益	23.9%	25.4%	26.0%	25.4%	23.7%	25.4%	27.0%	25.9%
経常利益	24.6%	25.8%	26.0%	26.2%	23.7%	26.2%	27.0%	25.9%
親株主帰属純利益	17.3%	21.3%	19.9%	19.2%	18.2%	19.2%	20.0%	19.8%

